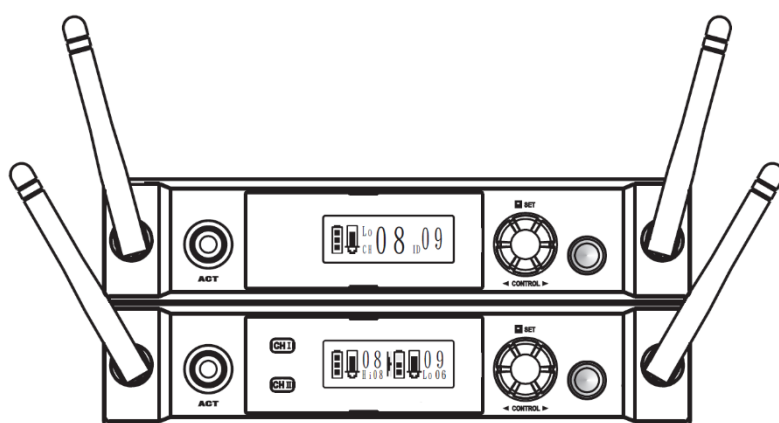




CW240 シリーズ

ユーザーマニュアル

V1.00



株式会社 サウンドハウス
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222
<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は CLASSIC PRO 2.4GHz デジタルワイヤレスシステム CW240 シリーズをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。製品の性能をフルに活用し、末永くお使いいただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。

使用上の注意

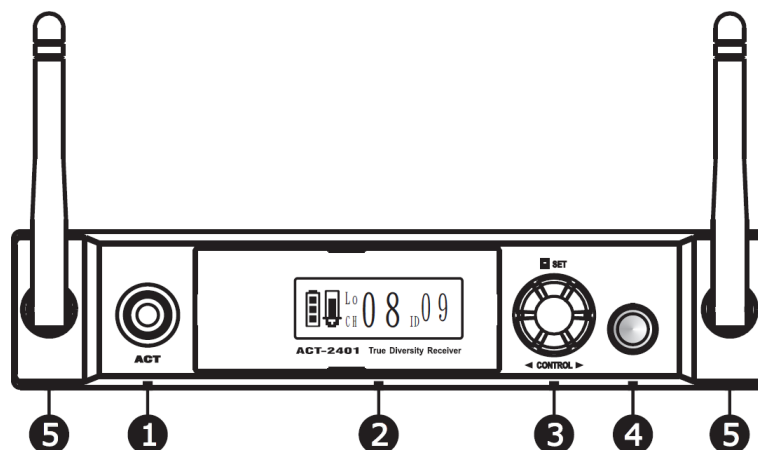
- ・ この取扱説明書にしたがって操作してください。
- ・ 水には大変弱いので、雨などがかからないよう十分ご注意ください。
- ・ 内部には精密な電子部品が多数実装されています。移動および輸送時には大きな衝撃が加わらないようにしてください。
- ・ 直射日光下やアンプ、ラジエーターの側など高温になりやすい場所、塵、埃の多い場所、過度に湿度の高い場所、振動の多い場所での保管、使用は避けてください。
- ・ 異常な音、またはにおいが発生した際には電源を切り、販売店または正規代理店までお問い合わせください。
- ・ 液漏れによる故障を避けるため、長期間使用されない場合は電池を抜いて保管してください。
- ・ 使用後の電池を破棄する際は地域の環境規則に従ってください。
- ・ 修理が必要なときには、販売店、もしくは正規代理店までお問い合わせください。

電波法について

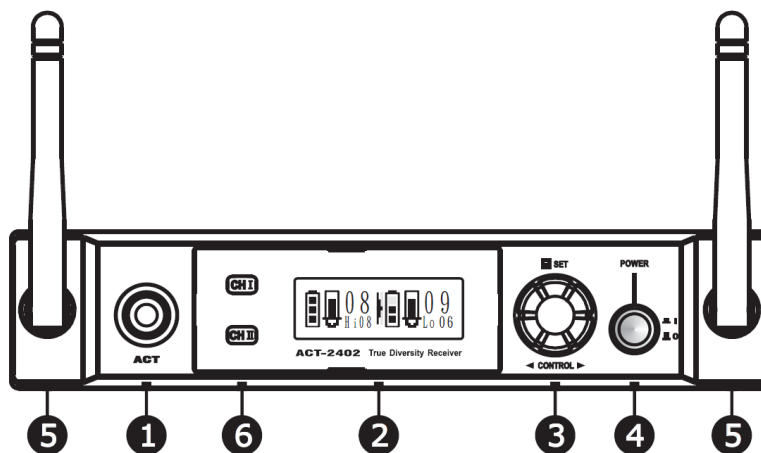
- ・ トランスミッターやアンテナの改造、及び法律に基づく表示を改変、削除しないでください。
- ・ 国内で販売されているトランスミッターは国内専用ですので、電波法の異なる海外では使用できません。

フロントパネル

CWR241



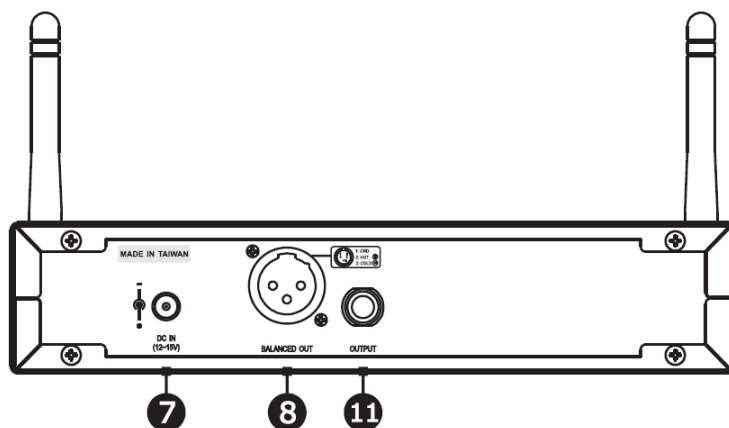
CWR242



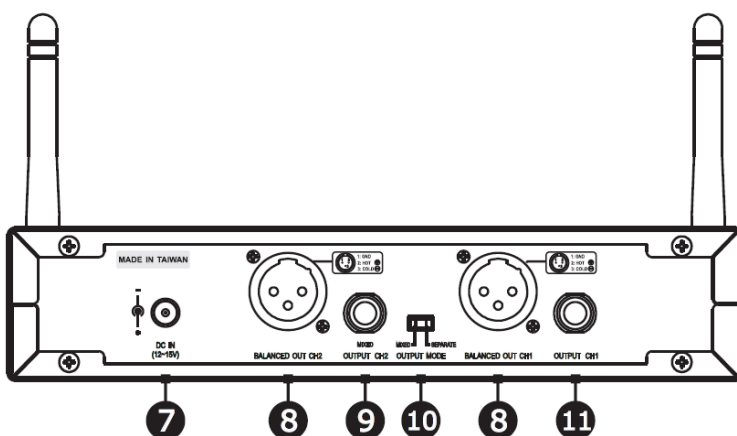
- | | |
|---------------|----------------------------|
| ① ACT ボタン | : レシーバーの設定をトランスミッターに転送します。 |
| ② LED ディスプレイ | : 現在の状態、設定を表示します。 |
| ③ ロータリーエンコーダー | : パラメーターの変更、設定を行います。 |
| ④ 電源ボタン | : 電源を ON/OFF します。 |
| ⑤ アンテナ | : 電波を受信します。 |
| ⑥ チャンネルセレクター | : 設定を行うチャンネルを選択します。 |

リアパネル

CWR241



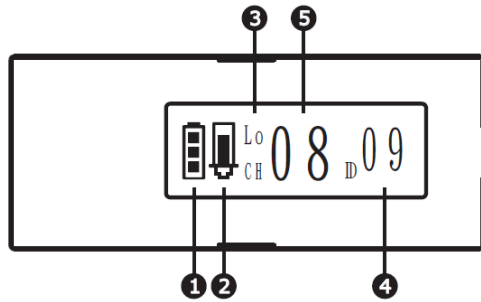
CWR242



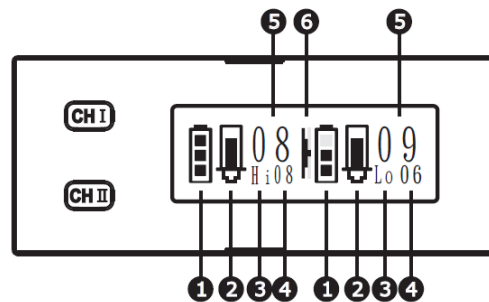
- | | |
|------------------------|---------------------------------|
| ⑦ DC 入力端子 | : 付属の電源アダプターを接続します。 |
| ⑧ バランス出力端子 | : XLR3ピン、マイクレベルのバランス出力です。 |
| ⑨ アンバランス出力端子 | : 1/4 フォンジャックのアンバランス出力です。 |
| ⑩ Mixed /セパレート切り替えスイッチ | : 1、2ch の個別出力、MIX 出力の切り替スイッチです。 |
| ⑪ アンバランス出力端子 | : 1/4 フォンジャックのアンバランス出力です。 |

ディスプレイの表示

CWR241

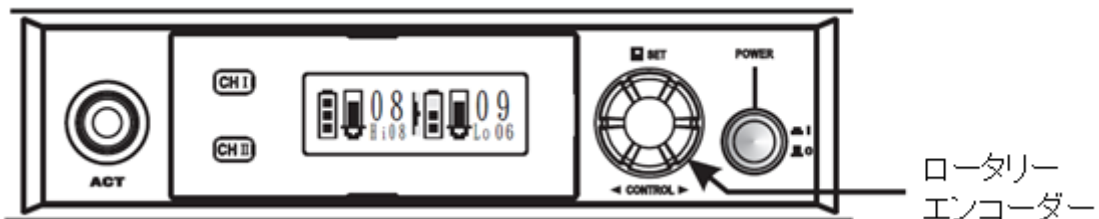


CWR242



- ① トランスミッター・バッテリーインジケータ
- ② AF レベルメーター
- ③ トランスミッター出力レベルステータス
- ④ トランスミッターID コード
- ⑤ レシーバーチャンネル
- ⑥ 選択チャンネル表示マーカー

ロータリーエンコーダー

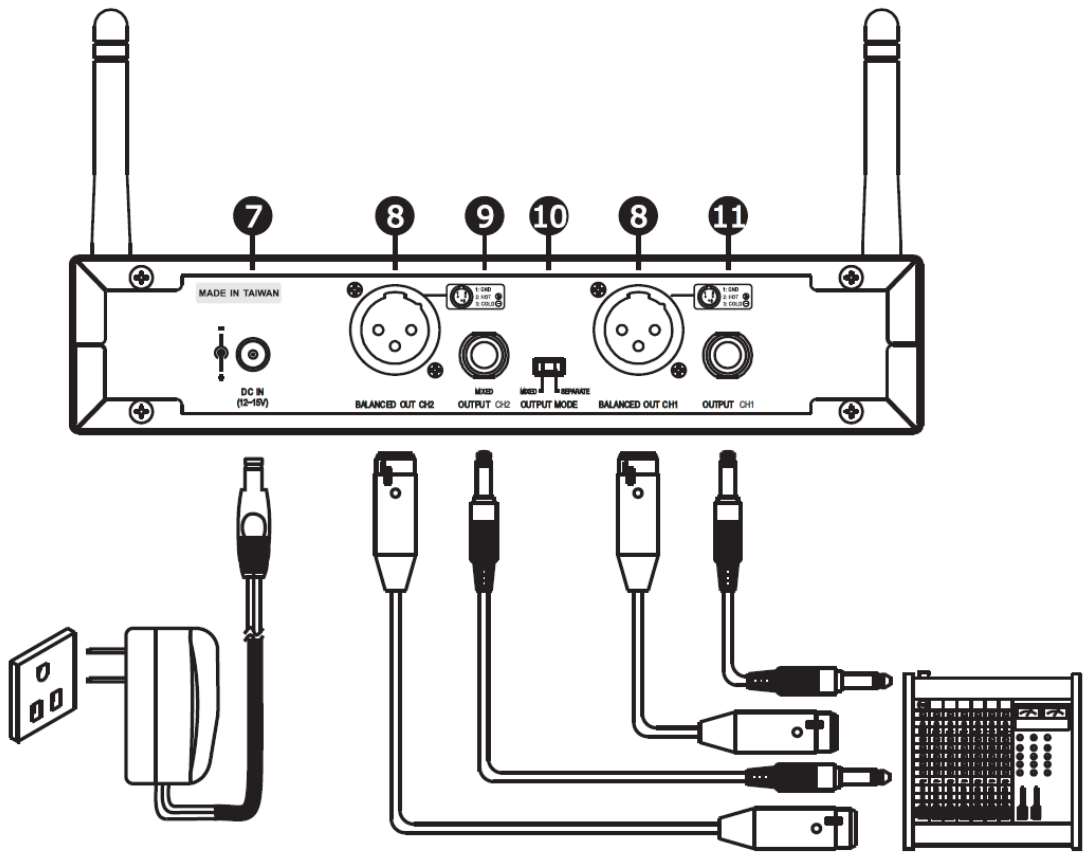


ロータリーエンコーダーにより、メニューの呼び出し、パラメーターの変更を行います。エンコーダーを回し、メニューやパラメーター表示を変更。エンコーダーを押すことにより、表示されている項目の選択・決定をします。

メインファンクション



レシーバーと周辺機器との接続



(Figure 1)

1. 電源アダプターの接続

DC 入力端子に付属のアダプターを接続します。

2. Audio 出力の接続

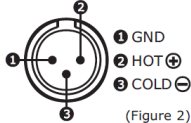
・アンバランス接続

ミキサー等とアンバランスで接続する際は、1/4 フォン端子を使用します。

・バランス接続

ミキサー等とバランスで接続する際は、XLR 端子を使用します。

マイク入力端子に接続します。

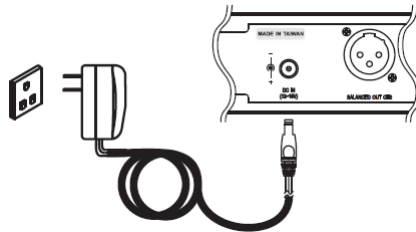


(Figure 2)

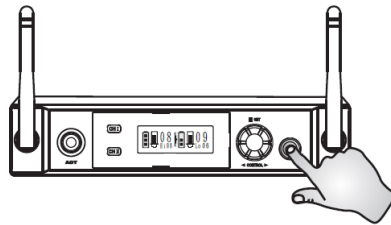
クイックセットアップ

1. 電源の接続

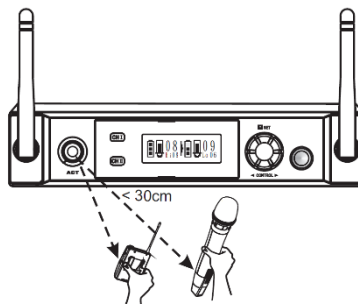
電源アダプターを DC 入力端子に接続します。



2. レシーバーの電源ボタンを押します。レシーバーの電源を ON にする際は、トランスミッターの電源を OFF に、また、ミキサー等、接続機器の音量は OFF にしてください。

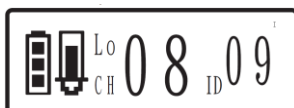


3. トランスミッターの電源を ON にして、レシーバーを近づけ、レシーバーの ACT ボタンを押します。



4. レシーバーからトランスミッターへ設定の転送が完了すると、レシーバーのバッテリーインジケータディスプレイが点灯します。また、音声信号を受信すると、AF メーターが動作をします。

CWR241

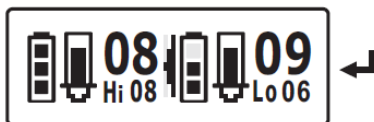


CWR242



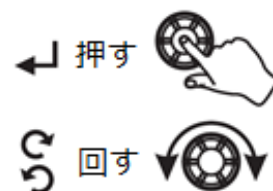
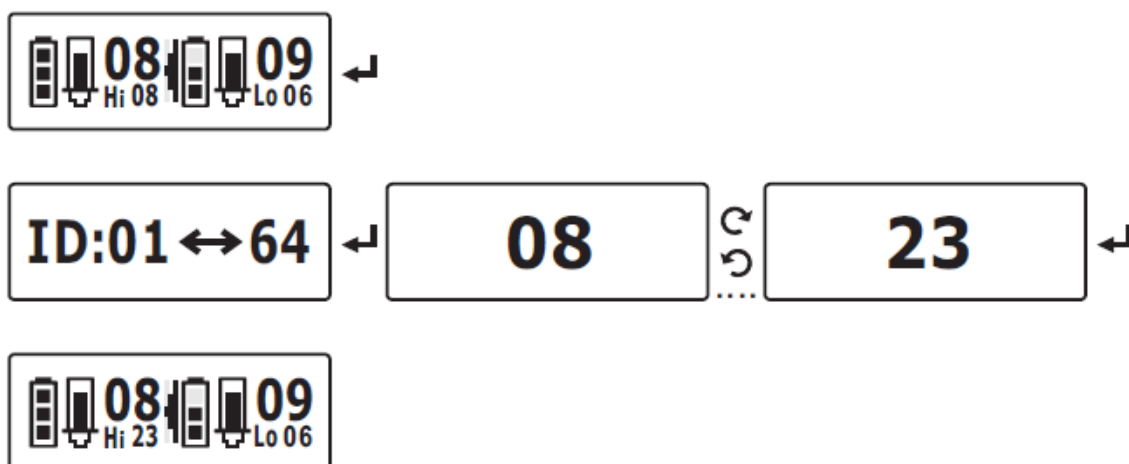
各種設定

チャンネル設定



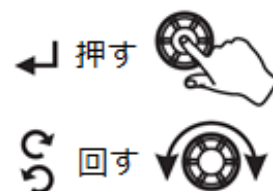
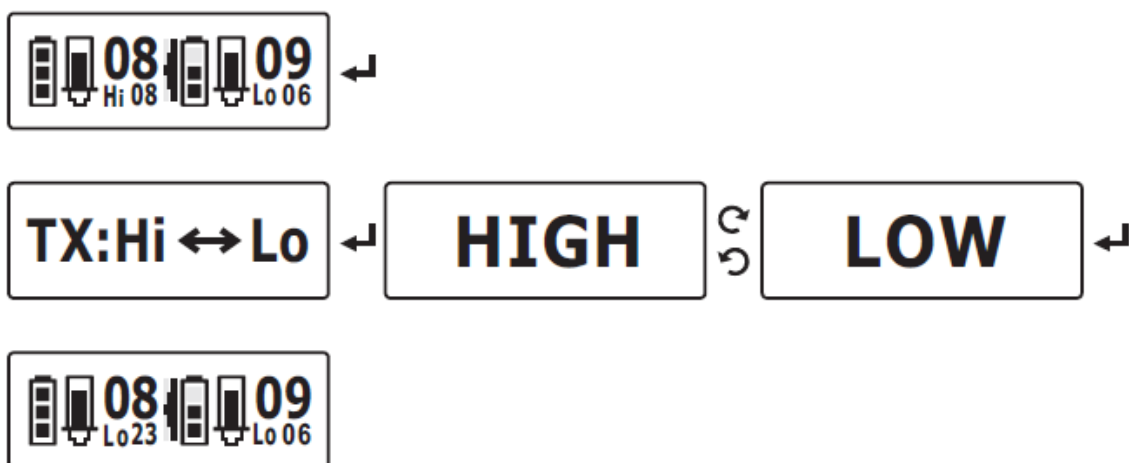
1. ロータリーエンコーダーを押して、セットアップモードに入ります。
2. ロータリーエンコーダーを回し、ディスプレイに CH : 01 ↔ 12 と表示させ、ロータリーエンコーダーを押します。
3. ロータリーエンコーダーを回し、01 から 12 の任意のチャンネルを表示させ、ロータリーエンコーダーを押します。
4. メインメニューに戻ります。

ID 設定



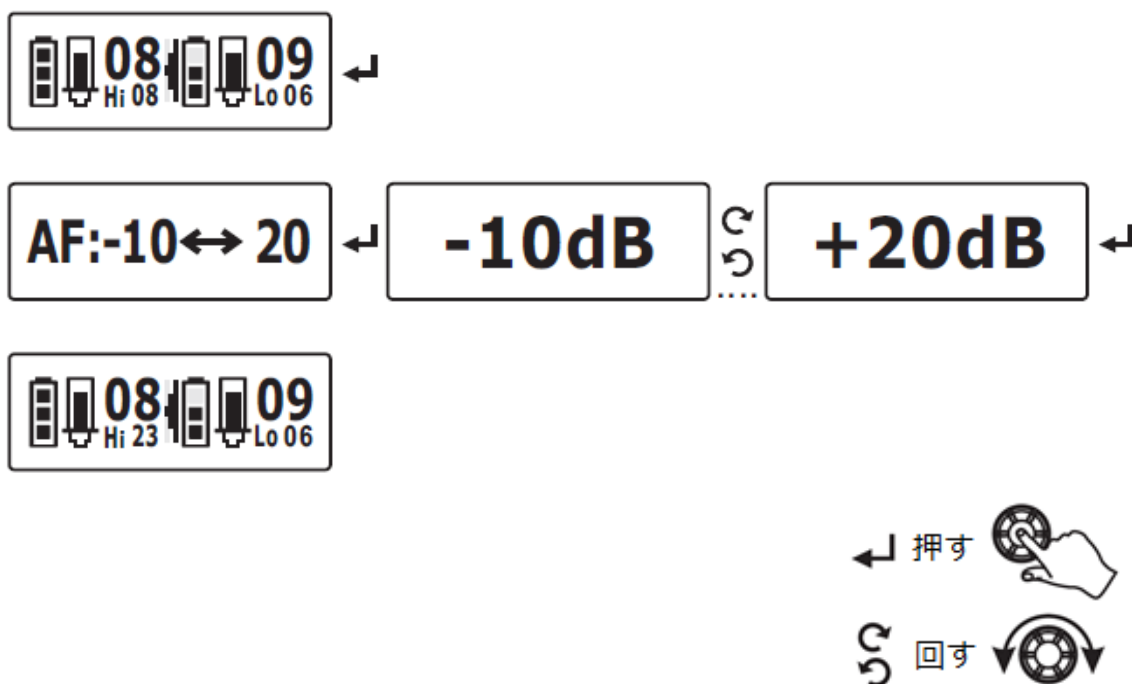
1. ロータリーエンコーダーを押して、セットアップモードに入ります。
2. ロータリーエンコーダーを回し、ディスプレイに ID : 01 ↔ 64 と表示させ、
ロータリーエンコーダーを押します。
3. ロータリーエンコーダーを回し、01 から 64 の任意の ID を表示させ、
ロータリーエンコーダーを押します。
4. メインメニューに戻ります。

トランスミッターモード設定



1. ロータリーエンコーダーを押して、セットアップモードに入ります。
2. ロータリーエンコーダーを回し、ディスプレイに TX : Hi ↔ Lo と表示させ、ロータリーエンコーダーを押します。
3. ロータリーエンコーダーを回し、Hi または、Low 表示させ、ロータリーエンコーダーを押します。
4. メインメニューに戻ります。

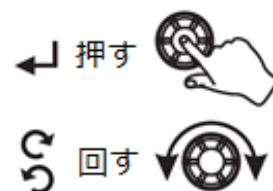
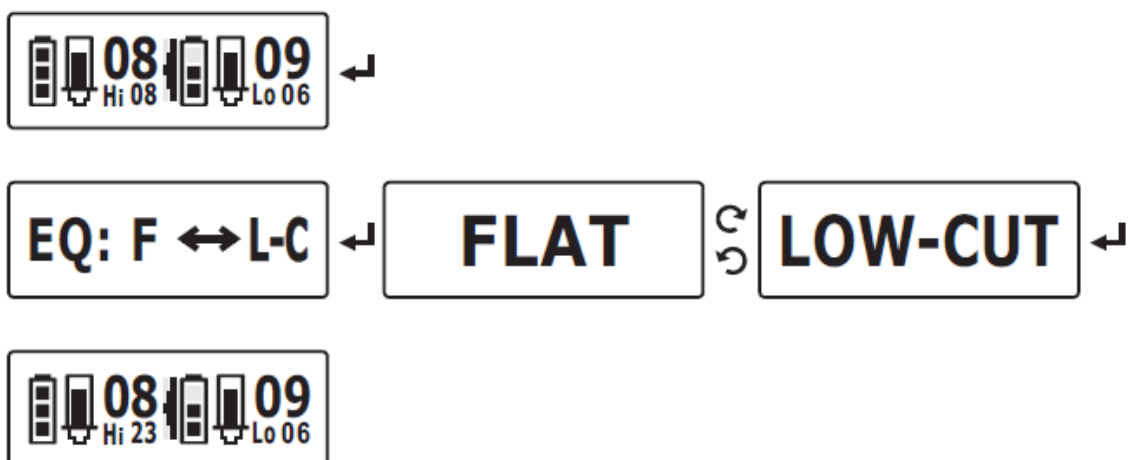
オーディオ出力設定



1. ロータリーエンコーダーを押して、セットアップモードに入ります。
2. ロータリーエンコーダーを回し、ディスプレイに AF : -10 ⇔ 20 と表示させ、ロータリーエンコーダーを押します。
3. ロータリーエンコーダーを回すことにより、1dB ずつ数値が変化します。
※マイク出力の場合 0dB、Line 出力の場合、+14~16 に設定します。
4. 任意の値を設定し、ロータリーエンコーダーを押します。
5. メインメニューに戻ります。

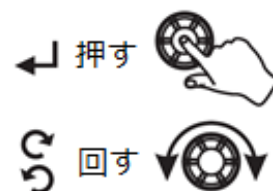
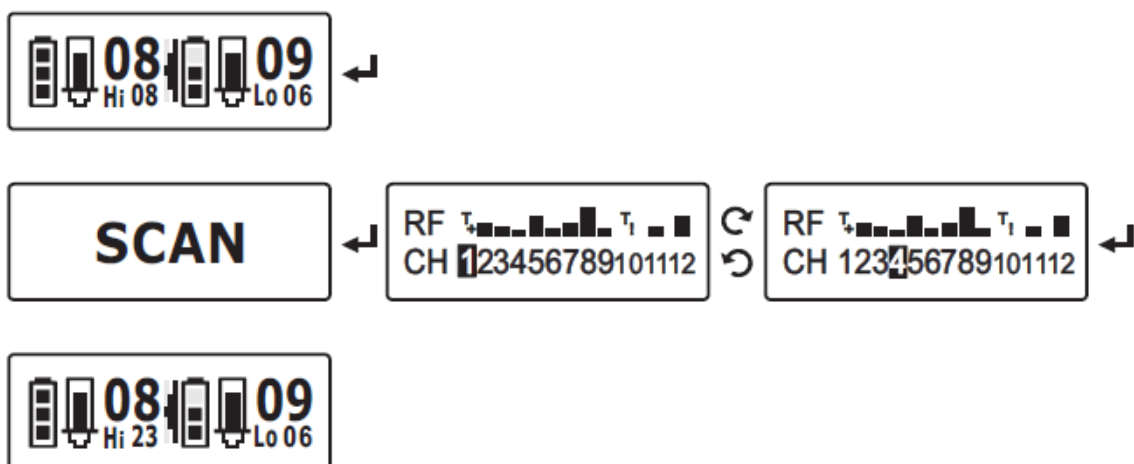
1/4 アンバランス出力端子を使用する場合、オーディオ出力は、+14~+16dB に設定して下さい。

イコライザー設定

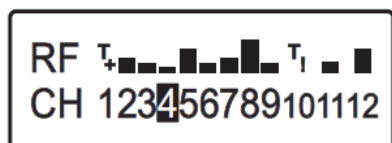


1. ロータリーエンコーダーを押して、セットアップモードに入ります。
2. ロータリーエンコーダーを回し、ディスプレイに EQ : F ↔ L-C と表示させ、ロータリーエンコーダーを押します。
3. ロータリーエンコーダーを回し、FLAT または、LOW-CUT と表示させ、ロータリーエンコーダーを押します。
4. メインメニューに戻ります。

チャンネルスキャン設定



1. ロータリーエンコーダーを押して、セットアップモードに入ります。
2. ロータリーエンコーダーを回し、ディスプレイに SCAN と表示させ、ロータリーエンコーダーを押します。スキャンを開始し、各チャンネルの状態を表示します。
3. ロータリーエンコーダーを回し、干渉の少ないチャンネルを選択し、ロータリーエンコーダーを押します。
4. メインメニューに戻ります。



“ T_+ ” トランスミッターが同一の ID で使用しているチャンネルを表します。

“ T_1 ” トランスミッターが異なる ID で使用しているチャンネルを表します。

“■” 干渉が大きいチャンネルを表します。

“—” 干渉が少ないチャンネルを表します。

トランスミッターのミュート

トランスミッターのミュートの状態を、レシーバーで確認することができます。

ミュートがかかっていない状態

ミュートがかかっている状態



トランスミッターのバッテリー残量

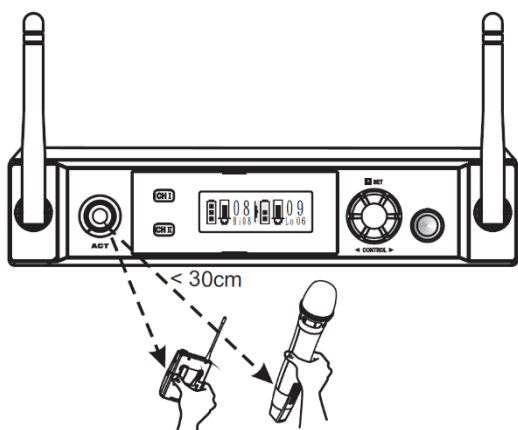
トランスミッターのバッテリー残量を、レシーバーで確認することができます。



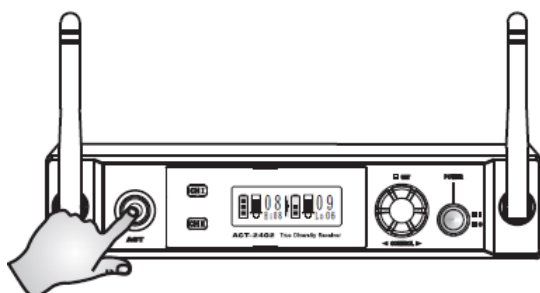
ACT シンク

ACT (Automatic Channel Targeting) とは、レシーバーの設定をトランスミッターに転送するための機能です。トランスミッター側で設定を行う必要がなく、簡単にトランスミッターの設定を行うことができます。

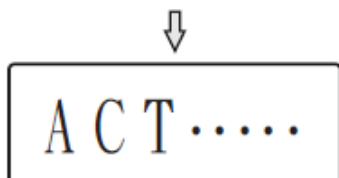
1. トランスミッターの電源を ON にして、レシーバーに近づけます。



2. ACT ボタンを押します。



3. シンクを開始します。



4. 転送が完了するとメインメニューに戻ります。

※転送に失敗した場合は、トランスミッターとレシーバーの距離に注意し、再度 1-4 の手順を繰り返してください。

